



Centro Brasileiro de Língua Japonesa

CBLJ ブラジル日本語センター

R. Manoel de Paiva, 45 Vila Mariana - São Paulo - SP CEP:04106-020

Fone: 11-5579-6813 / 11-5579-7337 Fax: 11-5574-0111

E-mail: fcenter@celj.com.br http://www.celj.com.br

『子ども日本語テスト』の内容について

趣旨

- ・ポルトガル語が母語である子どもの学習到達度をはかる。
- ・学習者にとって、日本語の勉強に対する「励み」になる。
- ・教師に教え方やカリキュラム作成等の見直しに役立ててもらおう。

問題作りの基本

- (1) テストは7つのモジュールに分けられている。それぞれのモジュールは、ブラジルで現在多く使われている7種類の教科書の分析を基にモジュール7～モジュール1の文型項目、表現、語彙が提出してある。更に、一般的に考えて理解しやすい順番になっており、どんな教科書を使っても受験できるようにしている。
- (2) ブラジルの事情（生活、風習）を考えている。日本語そのものの中に、日本文化が含まれているため、それを無視はできないものの、ブラジルらしさということも考えている。
- (3) 年齢を考えている。その年齢で考えること、興味、遊び、学習などを話題にしている。
- (4) できるだけ自然な表現を考えている。しかし、難しい文型になる場合は、そのモジュールにあったやさしい表現に変えている。

テストのレベル

日本語を習い始めた時期、家庭の中で日本語が少しでも残っていた場合等、児童を取り巻く環境によって、年齢が同じであっても、その児童の日本語力は異なってくる。使用している教科書によって、教授法、文型の提出順序も異なってくるので、何歳でどのモジュールということは断定できないが、およその目安としての年齢、学習時間数を記述している。到達目標は各モジュールの問題基準項目の冒頭に示してある。出題基準項目、語彙表、漢字表は別紙のとおり。

評価

- ① 記憶の問い : 日本語の知識を正確に記憶しているか。(語彙や活用形、句の選択)
- ② 文意に依存する問い : 文レベルの意味が理解できるか。
- ③ 運用力を測る問い : 適切な状況を考えて、日本語を運用することができるか。

- ・生徒の日本語の力を、「表現・理解」、「聴解」、「漢字・語彙」の3つの観点から測る。
- ・評価は、合格、不合格ではなく、A、B、Cの3段階とし、全受験者に認定証を発行する。
- ・教師には受験者の成績表を送付する。
- ・各モジュールの合計点に占める筆記、聴解、漢字のウェイトは、以下のとおり。

		合計				評価
モジュール	筆記	聴解	漢字	合計		
M7	筆記 60%	聴解 40%		100%	A: 71~100% B: 41~70% C: 0~40%	
M6	筆記 60%	聴解 40%		100%		
M5	筆記 60%	聴解 35%	漢字 5%	100%		
M4	筆記 60%	聴解 35%	漢字 5%	100%		
M3	筆記 60%	聴解 35%	漢字 5%	100%		
M2	筆記 60%	聴解 35%	漢字 5%	100%		
M1	筆記 60%	聴解 35%	漢字 5%	100%		



Centro Brasileiro de Língua Japonesa

CBLJ ブラジル日本語センター

R. Manoel de Paiva, 45 Vila Mariana - São Paulo - SP CEP:04106-020

Fone: 11-5579-6813 / 11-5579-7337 Fax: 11-5574-0111

E-mail: fcenter@celj.com.br http://www.celj.com.br

1) 年齢と学習時間数

日本語 能力試験					4 級			3 級
子ども 日本語 テスト	M7	M6	M5	M4	M3	M2	M1	
学習者 年齢	8 歳～ 9 歳	9 歳～ 10 歳	10 歳～ 12 歳	11 歳～ 13 歳	12 歳～ 14 歳	13 歳～ 15 歳	14 歳～ 17 歳	15 歳～
実質 学習時間	200 時間 前後	200～ 300 時間	250～ 350 時間	300～ 400 時間	350～ 450 時間	400～ 500 時間	450～ 550 時間	600 時間

(2) 各モジュールの到達目標

- M7: 日本語に慣れる。簡単な名詞文を理解する。
- M6: 名詞文、形容詞文、動詞文を理解する。(過去形は除く)
- M5: 日本語の時制と動詞、形容詞の変化を理解する。
- M4: 動詞の変化による表現を理解する。
- M3: 普通形、普通体を理解する。
- M2: いろいろな表現文型を理解する。
- M1: 表現文型の理解を広める。

(3) モジュール別 問題数と試験時間

モジュール	表現・理解				聴解		漢字・語彙		
	記憶	文意	運用	試験時間	聴解	試験時間	意味	読み	試験時間
M7	15 問	5 問	3 問	30 分	20 問	20 分程度	なし		
M6	20 問	10 問	4 問	40 分	20 問	20 分程度	なし		
M5	20 問	10 問	4 問	40 分	20 問	20 分程度	10 問	10 問	15 分
M4	15 問	20 問	5 問	50 分	20 問	20 分程度	10 問	10 問	15 分
M3	15 問	20 問	5 問	50 分	20 問	20 分程度	10 問	10 問	15 分
M2	15 問	20 問	5 問	60 分	20 問	20 分程度	10 問	10 問	15 分
M1	15 問	20 問	5 問	60 分	20 問	20 分程度	10 問	10 問	15 分

(2009 年 2 月 3 日作成)